

## 暑い夏

やっと一段落したように思えたのですが、明日からまた暑そうです。

熱中症警戒アラートの発令により、午前授業～給食後放課を行いました。保護者の皆様には急な対応をいただき、大変ありがとうございました。

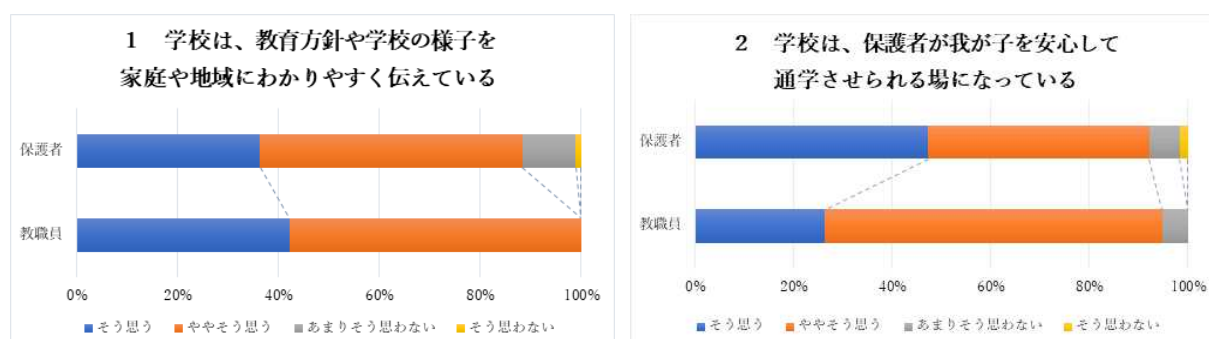
このことについて「一番暑い時間帯に歩いて下校させるのは心配だ」「急に帰宅することになって、家で親が対応するのが難しいケースもある」などのご意見もいただきました。校長としても同じように感じる場所はあるのですが、暑さ指数(WBGT)が「危険」を示す31以上となった状態で冷房のない校舎に多くの児童をお預かりすることには困難があり、全市小中学校一斉での午前授業～下校とさせていただきます。

いわゆる「地球温暖化」のためなのか、年ごとに夏の暑さが増してきているようです。これからも帯広市教育委員会や他の小中学校と連携し、児童が一番安全に学習できる方法を考えていきます。

## よりよい緑丘小学校をつくるためのアンケート

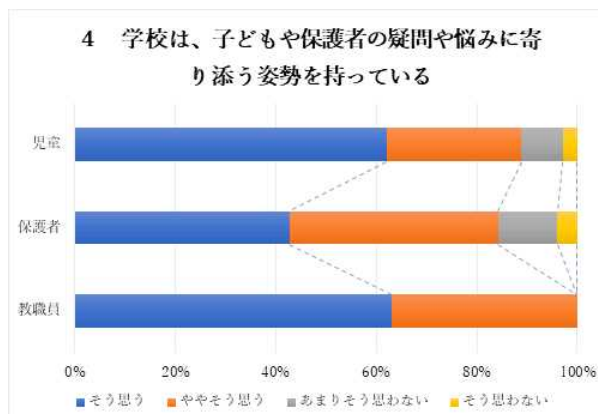
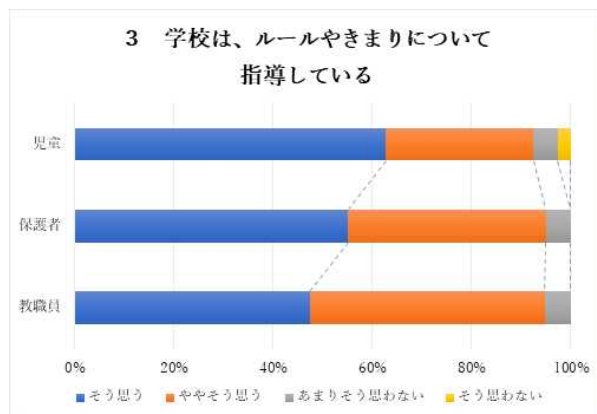
7月に実施したアンケートに、のべ179名の保護者の方からご回答をいただきました。2学期からの学校づくりに生かしていきます。

児童と教員のアンケート結果と合わせて、これから数回に分けてご紹介していきます。

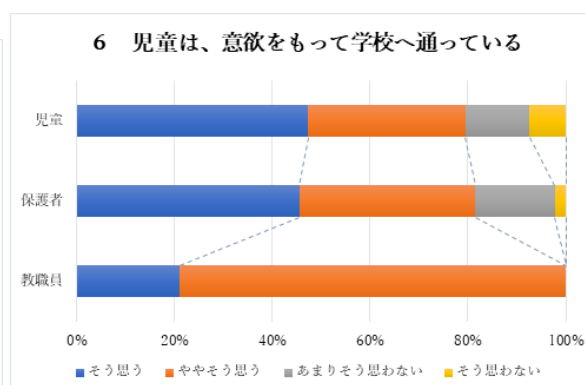
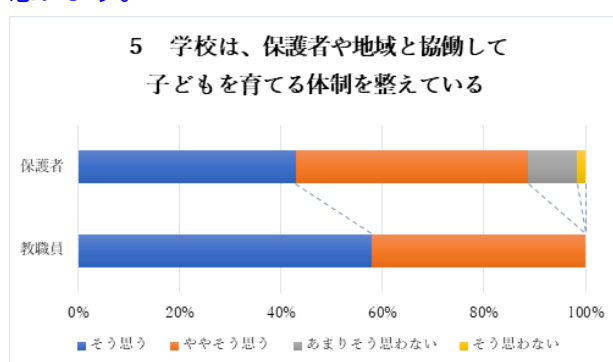


川上より～どちらも90%ほどの肯定的評価をいただきました。保護者から見えない学校生活やこれまでと異なる行事の進め方など、工夫しながらお知らせしていきます。また、この『緑の子』を町内会で回覧していただいたり店頭においていただいたりしていることにも感謝申し上げます。

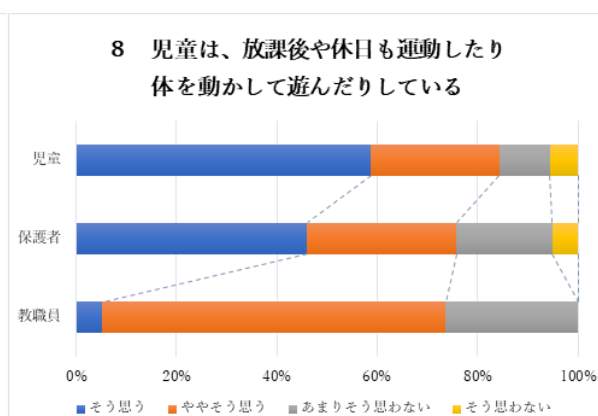
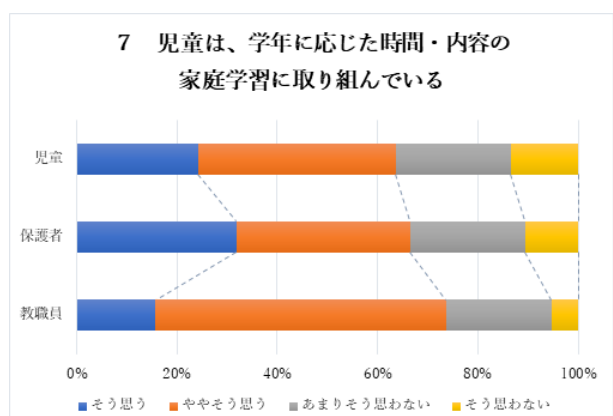
## 人がつながる緑丘小学校



川上より～児童の規範意識の醸成については、今年度の重点にも掲げています。社会生活に必要な「きまり」の意義を考えることで、自分たちの生活を改めて見直す機会にしたいと考えます。「子どもや保護者の悩みに寄り添う姿勢」についても、一部「そう思わない」との回答がありました。担任はもちろん、管理職や相談員など様々なチャンネルで悩みを共有し、一緒に考えていきたいと思えます。



川上より～今年度からPTA組織が一部改編されました。緑丘小PTAの伝統である「一人一役」「地域との連携」を重視しつつ、より実態に合った形への改編と伺っています。実際に、よんかけパトロールや保護者参加型授業には多くのご参加をいただき、夏まつりには多くの方のご協力をいただき、多くの児童の笑顔が見られました。ポストコロナとなり、今後も様々な形でご協力いただけるよう活動を考えていきます。

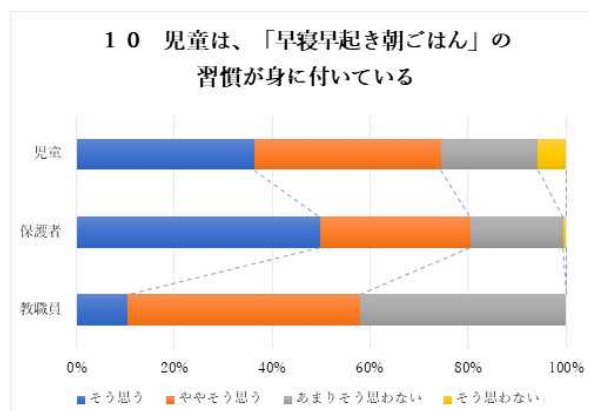
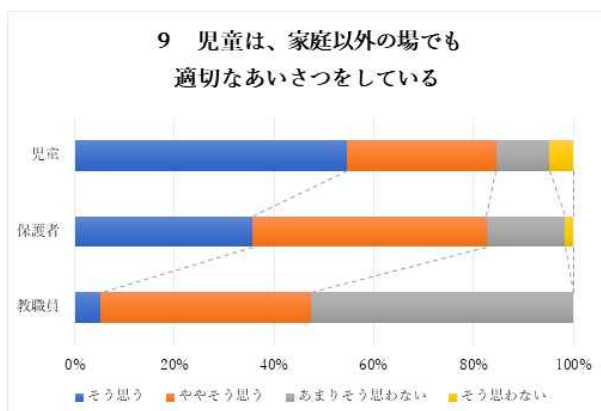
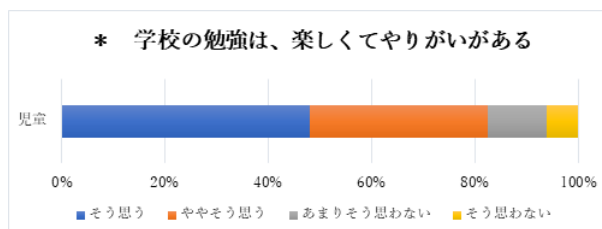


川上より～家庭学習については児童の評価がきびしかったです。6年生の家庭学習時間は4月の全国学力・学習状況調査の結果で全国との比較ができますが、本校児童はなかなか厳しい結果でし

### 人がつながる緑丘小学校

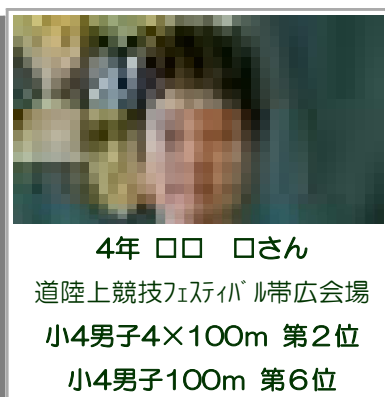
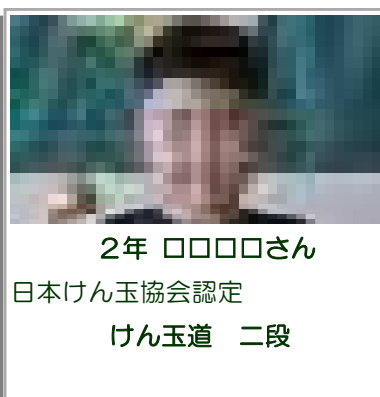
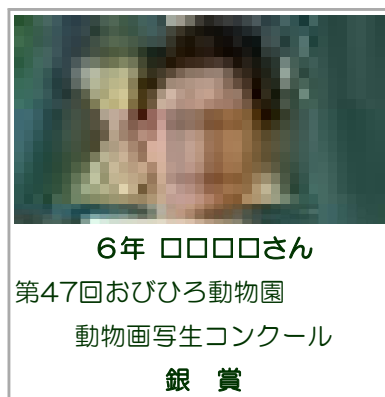
た（後日お知らせします）。家庭学習は、宿題はもちろんですが、苦手な部分の反復学習や興味を持った分野の調べ学習など、自分の意志で取り組む学習です。学習内容はもちろんのこと、自分で「学ぶ」「学び続ける」習慣を将来のために大切にしてほしいです。また、「知・徳・体」と三つ並べて言われるように、特に子どものうちはバランスのとれた心身の成長が必要です。緑丘小学校校区は公園も多く、広場や遊具など場所には大変恵まれていますので、涼しくなるこれからの時季はうんと体を動かしてほしいです。

さて、「勉強」「やりがい」は、今ひとつの結果でした。今年度は授業改善推進グループの力も借りながら、今まで以上に授業改善に取り組んでいます。いつの時代も児童にとって勉強はなかなか気が重い（・・・）ものですが、児童が学びの意義を感じながら取り組めるようにします。



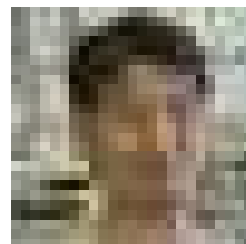
川上より～この二つの設問は、昨年同期のこのアンケートと比べて児童と保護者ともに高い評価となりました。もちろん「そう思わない」の回答もあるので今後の改善は必要なのですが、緑丘小の児童として少しずつ改善されているように思います。また、このタイプの設問は「児童と保護者は『自分は（我が子は）できている』と高評価になっても、教職員は『学級・学校全体としても一つ』と辛い評価になる」という傾向にあります。「自分はできている！」と思う児童は、もっと伸びていけるようこれからもがんばってください。ご家庭でも、がんばった子どもの姿をタイムリーにほめてあげてください。

いただいたコメントなど、次号よりご紹介します。



## 『人生を豊かにするため』に、学ぶ □□ □□

時々、子ども達に「何のために勉強をするの？」と訊かれることがあります。一体、何のために勉強をするのでしょうか？明確な目標があって勉強している子もいれば、なんとなく勉強している子、勉強が嫌で仕方のない子などさまざまかと思います。私もその子が求めるような答えを言うことはできていないのですが、自信をもって言えるのは『人生を豊かにするため』ではないかということです。何かにつまずいたときに助けてくれるのは、周りの人であることもあります。でも自分が学んできたことであることも多くあり、それが自分の力となり道になります。人付き合いをしていく上でも、様々な知識があるとそれだけ会話も広がり人脈も広がります。そして、将来の自分について考える上での選択肢が広がります。それはきっと、『人生を豊かにするため』の大事なことのひとつなのではないでしょうか。



とは言っても、私がそうしたことを思うようになったのはごく最近です。40年間生きてきた中で、良い経験とともにたくさんの挫折も経験してきました。でも、自分で言うのも変ですが、『今やっていることは、いずれ自分の何かにつながってくる』という思いは常に持ち続けることができ、微々たる努力であっても続けていくことができました。だからこそ、そうした思いを持つことにつながったのではないかと思います。そして、人に迷惑をかけながらも充実した毎日を過ごすことができている。

私見ですが、『自ら学び続ける力』をつけることが子ども達に求められる世の中なのに、子ども達の周りには動画やゲームなどの情報機器をはじめ『学ばなくても満たされてしまう環境』ばかりが多いように感じます。そうした環境に生きがいを感じすぎてしまったら、それは学校生活にあまり魅力も感じなくなってしまうのかな、なんて思ったりもしています。でも、大人になり自分で生活するようになったときに、果たして世の中はどうなっているのでしょうか……。ワンクリック等で満たされることも多くなるのは間違いないですが、まだまだ『自ら考える力』が求められることは多いでしょう。いや、それが実は一番大事になるのかもしれない。

私は予言者でも何でもない人間ですが、そんなことを考えながら日々過ごしています。先行きが不透明で不安なことも多い世の中で、自分がどうなっているかなんてわかりません。でも、『どうなりたいか』は自分の意志次第です。今関わっている子ども達が『何のために勉強をするの？』と誰かに問われたときに、自らの経験をもとにしっかりと語れる人になってもらえること、そして語り手の『豊かな人生』につながっていることを願いながら、一人の教師として関わり学び続けていきたいと思っています。